



留学生会の活動

留学生会は、留学生の間や地域などとの親善・交流を通じて、他の文化への認識を高め、生涯にわたる友情を育むような活動をしています。留学生会には、多くの国から来た学生が参加しており、留學生活の活動やイベントには、ボウリング大会のような新入生歓迎会、学園祭での自分の国の料理を紹介する模擬店、弁論大会の運営などが含まれます。

タバ ジョティ (総合政策学部2年)

ボウリング大会の感想

皆さんボウリングをやったことがありますか？ 50人以上の外国人団体でプレーした体験がありますか？ 今年にはコロナの影響で実施できなくなりましたが、来年、機会があれば是非参加してください。

まず、練習でチームを分けました。チーム内は全員知り合いだから、心配の必要がないです。練習が終わったら新しいチームを組んで、今度は本気を出さなければいけません。優勝したらサプライズもありました。最後にみんなで一緒にご飯を食べて、とても楽しかったですね。



リ エン (総合政策学部2年)

弁論大会出場の感想

皆さん元気で頑張っていますか。しっかりと日本語の勉強もやっていますか。四日市大学では、毎年度留学生による日本語弁論大会が行われます。弁論大会は、日本語の能力を上げることが一番の目的にし、自分が成長する為にも良い機会だと私は信じています。私は1年生と2年生の時に四日市大学留学生日本語弁論大会に出場しました。自分で原稿を作成し、指導して頂いた先生と一緒に練習し本番を迎えました。とても大変でしたが、1年生の時に学長賞、そして2年生では四日市北ロータリー賞を受賞することができ自信も付きました。今になってもう一度振り返って見ると、参加して本当に良かったと私は強く思います。

日本語弁論大会は、私たち留学生にとって大学からもらう大きなプラットフォームだと私は考えています。皆さんもぜひ参加して自分の才能を提示してください。皆と仲良く、いいライバルとして、大学の生活を頑張ってください。

クンワル アカス (総合政策学部3年)





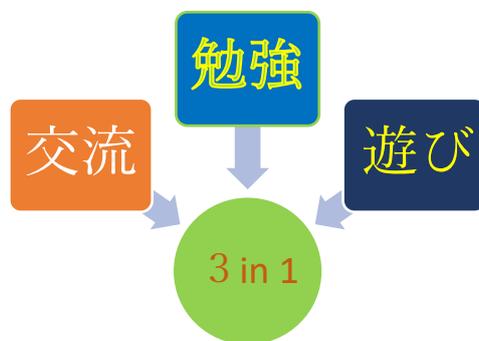
第17回四日市大学留学生日本語弁論大会のお知らせ

開催日：2021年1月11日(月・祝) 13:00～

場 所：四日市大学 311 教室

毎年恒例の「四日市大学留学生日本語弁論大会」を開催します。今回で17回目になるこの大会は、日本の伝統的なスピーチ文化である「弁論」によって、私たちに多くの学びと感動を与えてくれます。自分の頭で考え、自分の言葉で表現し、自分の声で伝えることの重要性。文字や肉声によって表現するアナログなコミュニケーションの魅力。そして、同じ空間で「言葉の力」を体感するという感動。日ごろの留学生生活において、感じていること、考えていること、母国と日本の違い、またこれからの日本社会に対する提案などを発表します。弁論大会は一般公開いたします。ぜひ皆さん、ご来場ください。

エッキ バガス セティヤワン (総合政策学部2年)



日程：2021年2月24日(水)～25日(木) 1泊2日

場所：伊勢・鳥羽方面

伊勢神宮、真珠の取出し体験、鳥羽水族館、賢島クルーズなど

毎年、四日市大学では研究旅行を行っています。この旅は留学生と日本人の学生がつながりを持ち、交流できるいい機会です。今年の研修旅行は新型コロナウイルス影響延期され、来年の2月に1泊2日で実施される予定です。

今回の旅で行くのは三重県の観光名所である伊勢、鳥羽エリアです。三重県に住んでいる学生が多いのに、三重県で有名な所に行ったことない学生も多いと思います。三重県って何があるの?となる方は意外と多いと思います。しかし、三重県には自然、絶景、グルメ、レジャー、温泉、綺麗な海とあらゆるものが揃っています。

伊勢、鳥羽エリアは三重県の中でも特に観光地が多いエリアです。伊勢神宮、鳥羽水族館、賢島クルーズ、真珠の取出し体験などといえば、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。皆さん一緒に体験してくださいね！それぞれ全国的な知名度も高く、三重県を代表する観光地になります。歴史的建造物と海産物に恵まれたこの地域は、必ず訪れておきたいエリアです。

レ ティ チャン (総合政策学部3年)





新型コロナの影響

2020年は私にとって特別な年であるだけでなく、みんなにとっても特別な年になっていると思います。コロナウイルス感染拡大により、みんなに長い時間の影響を与えています。大学生のアルバイトの時間を短縮されて、親の収入も影響されてい

ますから。政府と学校はその状況に鋭敏な対応をして、多くの大学生は四日市大学から支援金・給付金を受け取りました。1回目は政府から10万円と2回目は四日市大学から10万円をいただくことができました。そして、四日市大学の留学生センターはそれをもたらうように留学生を補助してくれました。そして、桑名社会福祉協議会の方から食糧支援をしていただきました。私も2月から6月までアルバイトの時間を短縮されましたが、日本の政府と四日市大学のおかげで、厳しい生活の月日をやり過ごしました。本当にありがたいと思っています。



リ チー タン (環境情報学部 2年)

自粛生活の経験

新型コロナウイルスの影響でみなさんも自粛生活を送られているかと思いますが、私の自粛生活の経験を書かせて頂きます。基本的に外出する事がほとんどなくなりました。また、外出する時はマスクをきちんとするようにしました。帰ったら手洗い、うがいなどを実施しました。StayHomeでmovieを沢山見ました。家で食事するので色々なメニューに挑戦出来ました。観葉植物を部屋に沢山置いてイメージチェンジしました。普通の買い物より遠隔買い物をよくしました。バイトは減ってしまったので、家でゆっくり色々な勉強もできました。そして友達に会う、友達と遊ぶこともほとんどなくなり、テレビ電話などで通話をよくしました。



グエン ティ ラン (総合政策学部 2年)

自分を守るために

コロナが発生していた時から、私は大変苦しくなりました。学校で授業を受けるのではなく自分のアパートでのオンライン授業でした。初めてなので、全然集中できなかった。アルバイトの所にもお客様が減ってきて自分が入ったシフトを急に休んだり、時間が短くなったり給料が減って生活がすごく大変でした。そして感染者がたいへん多かったとき緊急事態宣言になりました。外へ行けないので、友達や彼女に会えなくなりました。特に仕事の時やスーパーへ行く時必ずマスク着用することです。家に戻ってきたら手に消毒をかけてすぐにお風呂へ入ることにしていました。

ムウン マノット (総合政策学部 3年)

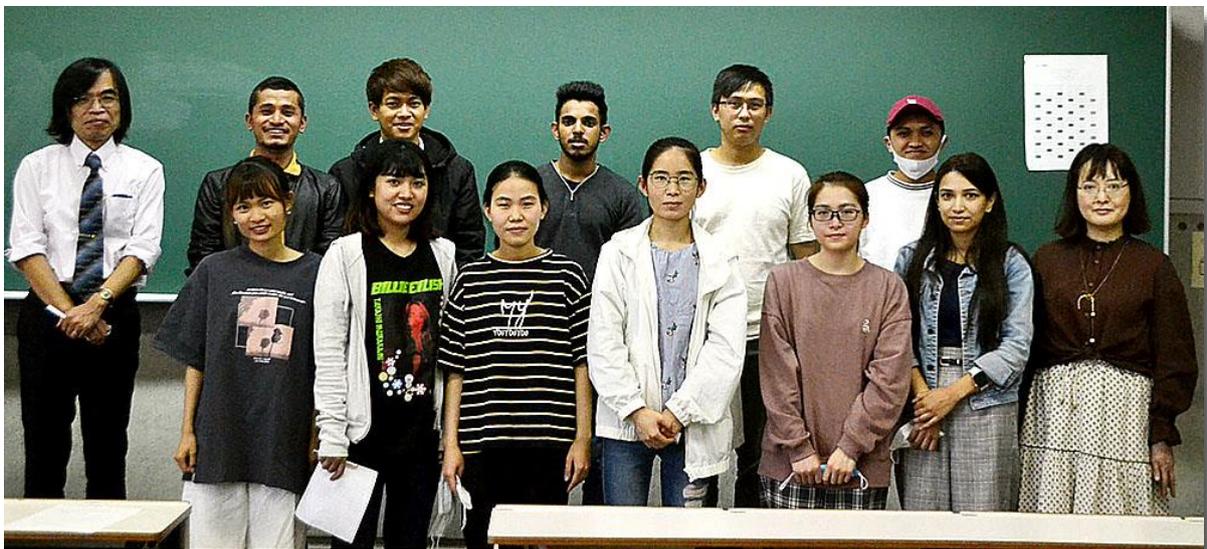
がんばれ!

政府補助制度



2019年12月から新型コロナウイルスの感染が始まりました。中国だけじゃなくて世界の多く国に感染拡大による影響を与えています。日本人や日本に住んでいる外国人も影響されています。収入が減って生活が厳しくなります。生活が困っているの、日本政府は1人当たり10万円を国民に提供して、コロナウイルスの流行の影響を受けた人々を支援してきました。さらに、政府は、収入が50%以上減少する日本人および外国人に対しても2年間で金利0%の資金を1世帯当たり20万円まで融資支援を行っています。コロナウイルスの影響によりアルバイトの時間を短縮されて、親の収入も影響されています。親から仕送り金を受け取れないです。厳しい生活が政府のおかげで助かっています。本当にありがとうございます。

カック ティ シン(総合政策学部2年)



編集長:チャン ティ ホイ (総合政策3年)

副編集長:クンワル アカス (総合政策3年)、ムウン マノット (総合政策3年)
レ ティ チャン (総合政策3年)

編集員:リ チー タン (環境情報2年)、エッキ バガス セティヤワン (総合政策2年)
カック ティ シン (総合政策2年)、グエン ティ ラン (総合政策2年)
タパ ジョティ (総合政策2年)、リ エン (総合政策2年)